

製品名: PIPOX ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16163**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	PIPOX
別名	PIPOX; LPIPOX; PSO; Peroxisomal sarcosine oxidase; PSO; L-pipecolate oxidase; L-pipecolic acid oxidase
遺伝子 ID	51268.0
SwissProt ID	Q9P0Z9
免疫原	抗血清はヒト PIPOX 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 257-306

背景

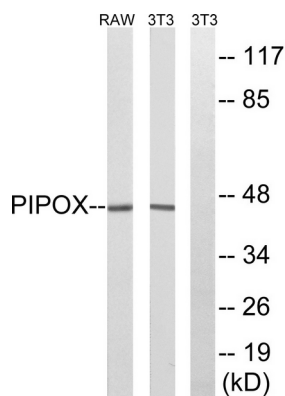
触媒活性: L-ピペコレート + O(2) = 2,3,4,5-テトラヒドロピリジン-2-カルボキシレート + H(2)O(2)。触媒活性: サルコシン +

$H(2)O + O(2) = \text{グリシン} + \text{ホルムアルデヒド} + H(2)O(2)$ 。補因子: サブユニットあたり 1 個の FAD を結合する。機能: サルコシン、L-ピペコリン酸、および L-プロリンを代謝する。類似性: MSOX/MTOX ファミリーに属する。サブユニット: モノマー。触媒活性: $L\text{-ピペコレート} + O(2) = 2,3,4,5\text{-テトラヒドロピリジン-2-カルボキシレート} + H(2)O(2)$ 。触媒活性: $\text{サルコシン} + H(2)O + O(2) = \text{グリシン} + \text{ホルムアルデヒド} + H(2)O(2)$ 。補因子: 1 個を結合するサブユニットあたり FAD。機能: サルコシン、L-ピペコリン酸、L-プロリンを代謝する。類似性: MSOX/MTOX ファミリーに属する。サブユニット: モノマー。

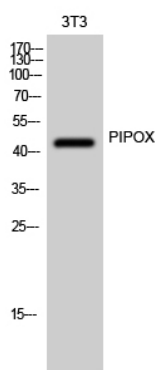
研究分野

グリシン、セリンおよびトレオニン代謝、リジン分解、

画像データ



PIPOX 抗体を用いた NIH/3T3 細胞および RAW264.7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PIPOX ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析